

公立高校入試情報 鹿児島県

【数学】

令和3年度鹿児島県入試の全体傾向

- 大問数は5問、小問数は27問で昨年と同じ。
- 大問1は基本問題の小問集合、大問2は図形の証明や計算過程の記述を含む各領域の問題、大問3は資料の活用、大問4は関数 $y=ax^2$ （会話形式）、大問5は三平方の定理と平面図形の問題が出題された。
- 大問1の5は桜島降灰量を題材とする1次方程式の利用の問題だった。
- 大問5は薩摩切子の模様「麻の葉」を題材とする図形の問題だった。
- 問題文の長い問題や、証明以外の求め方や計算過程などの記述問題も出題されるので、基本問題を確実に効率良く解いて時間を確保しておきたい。

■ 実生活への活用力をみる問題の出題

- ・身近な題材について、方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので、数学的に考える力を養っておく必要がある。

■ 関数と図形の融合問題の出題

- ・例年どおり、放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。動点と面積の変化の問題もよく出題されるので、対策が必要である。

★鹿児島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●		●	●	
		文字と式		●	●		
		方程式	●	●	●	●	
		比例と反比例		●	●		
		平面図形	●	●	●	●	
		空間図形	●	●	●	●	
		資料の活用	●	●	●	●	
	2年内容	式の計算		●			
		連立方程式	●	●	●	●	
		1次関数	●				
		図形の調べ方		●	●	●	
		三角形	●	●	●		
		平行四辺形					
		確率	●	●	●	●	
	データの比較と箱ひげ図						
	3年内容	式の計算	●	●		●	
		平方根	●	●	●	●	
		2次方程式	●	●	●	●	
		関数 $y=ax^2$		●	●	●	
		相似な図形	●	●		●	
		円の性質	●	●	●	●	
三平方の定理		●	●	●	●		
標本調査							
出題形式別の傾向	大問数		5	5	5	5	
	小問数		26	23	27	27	
	記述問題	図形の証明(説明)		1	1	1	1
		その他の説明・証明など		1	1		
		立式・解法の過程の記述		3	2	2	3
		作図(図形)		1	1	1	1
作図(グラフ)							